

ある山好きの軌跡

山岳画への思いと出会い

PRIVATE COLLECTION Part1

2024年5月25日 ● ～7月24日 ●

コレクターからのごあいさつ

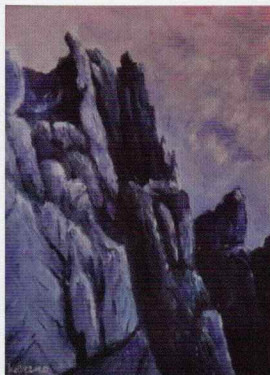
私の山好きは、父の弟で陸軍士官学校から復員してきた叔父博の影響です。叔父は地元の秦野山岳会（昭和8年12月に結成。昭和13年に武田久吉を顧問として迎えた）に入会して、丹沢を中心に山登りをしていました。私の登山歴は小学生の時からこの叔父に連れて行ってもらったことに始まります。叔父はその後、アルピニズムを求めて4人の仲間と恋峰山岳会を昭和25年に結成しました。私も会員として山に明け暮れました。

妻宣子は、もともと運動好きでしたので、山とスキーを一緒に楽しみ、4人の男の子を授かってからも全員が山、山に行かなければ「ご飯もおあずけ」という程、家族を巻き込み山に入れ込んでいました。私は妻から、「あなたは山の『や』だけでときめいている人」とよく言われました。

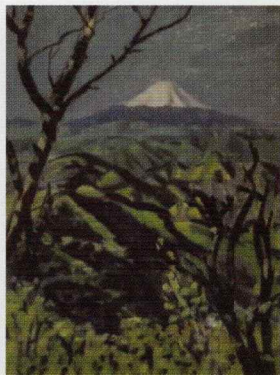
そんな私は、丹沢の沢を卒業してからは谷川岳、穂高岳、剣岳などの岩を攀るようになりました。そして、自分が攀った岩壁への思い入れから、それらの絵が欲しくなりました。

そして、戦中派のクライマーで画家の岡部一彦氏（第2次RCC初代会長）に出会ってからは、話が通じ合い、氏が魂を込めて描いた一ノ倉（谷川岳）の岩壁の絵に魅せられてしまい、この絵を見るために氏のご自宅をよく訪問しました。岡部氏は「この絵は誰にも渡さない、額も自分のデザインで特注で作った額だよ」と云っていました。最後はこの絵を「岡部氏が渡さない」か、或いは「私が譲ってもらう」かの根競べとなりました。とうとう私の熱意が通じて、今は自宅の床の間を飾っています。

今回は、安曇野山岳美術館のご好意で、私が所蔵する山の絵を、山への思いを込めて皆様に見ていただくことになりました。お楽しみいただければ幸いです。



小山義治：滝谷第一尾根



中村清太郎：塔ノ岳からの富士山



古典絵画：マッターホルン

今回の企画展は、Private Collection Part1としてご自身も山登り、沢登り、ロッククライミング、山スキーと山に親しんでこられたコレクターの所蔵作品の中から厳選した作品をご覧頂きます。

また7月27日からPrivate Collection Part2と題し、岡部一彦の貴重な作品と古いピッケルや登山靴などの山道具の展示を予定しております。ご期待下さい。

安曇野山岳美術館

観覧料（税込）	一般・大学生	中学・高校生
当日	700円	300円
団体	600円	150円

- ・団体料金の適用は10名以上。
- ・小学生以下は入場無料
- ・学生券をお求めの際は、学生証のご提示をお願いいたします。
- ・障害者手帳のご提示で割引料金あり。



安曇野山岳美術館
AZUMINO MOUNTAIN ART MUSEUM

〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 3613-26
http://azumino.mt-museum.jp/
お問合せ TEL: 0263-83-4743

〈アクセス〉

JR 大糸線穂高駅下車、車で10分（駅前にレンタカー、レンタサイクルあり）

自家用車の場合は、長野道安曇野ICで下りて約25分

JR 穂高駅から中房温泉行バス『花木会館前』下車、徒歩2分

